

第5章 支え合える仲間 ～患者団体とがんサロン～



みなかみ町 伊賀野の花畑
@shinopapa527

ともに支え合う仲間たち～あなたの生きる力を支えます～

高崎健康福祉大学 保健医療学部看護学科
学科長・教授 神田 清子

がんと診断され、気持ちや感情が不安定で「自分が自分でなくなってしまう」、「一つ一つの事柄が心配になります」など、がんを体験した人の切実な声があります。また、医師から提案された治療をどうやって選んできたのか体験者の話を聞きたい、不安な気持ちを誰かに話したいなどの希望があります。

不安や心配を乗り越えてきた体験者（仲間）、同じようなニーズを抱え解決してきた体験者（仲間）は身近に沢山います。支え合う場として地域社会や病院には「がん患者会」や「がんサロン」があります。それらの活動を担っているのは「群馬県がんピアサポーター」や「患者会に属している仲間」であり、地域社会やがん診療連携拠点病院などで活躍しています。「群馬県がんピアサポーター」は群馬県が主催している研修を受けた人たちのことです。

ピアサポートとは、ピア（peer）仲間とサポート（support）支援を意味し、体験者同士の支え合いのことを指します。医師、看護師、薬剤師や医療ソーシャルワーカーなどの医療者や福祉関係者および行政関係の専門家とは違った役割があります。対等な立場で、辛い気持ちを分かち合うことやお互いの体験の共有ができます。何といたっても専門家では補えない仲間との出会いがあります。

治療に伴う副作用や合併症への対応、生活の送り方などについてもひとりで悩まず体験を語り合うことによって苦しみが離れます。地域で行われている「がんサロン」や「病院のサロン」などは開催される曜日や時間が決められていますが、ご自分の予定で自由に選ぶことができます。孤独にならず「ともに支え合う仲間の存在と力を信じてみましょう」。仲間が話を聴いて、一緒に考え、気持ちに寄り添います。それはあなたの生きる力を支えてくれることでしょう。

11 支え合える仲間

がん患者さんが抱える不安や悩みの解消には、がんにかかった人の経験が役に立ちます。

県内では、がんにかかった方同士の支え合いの場として、地域や病院に「がん患者団体」や「がんサロン」があります。また、がん診療連携拠点病院などで「群馬県がんピアサポーター」が活動しています。

がん患者団体 ～仲間に会おう～

がんにかかった患者さんが主体となって結成し、情報交換や勉強会、交流会、ボランティア活動等を通じ、がん患者さんやその家族、遺族の方の不安を解消することやつらさや悩みをわかちあう活動を行っています。

●群馬県がん患者団体連絡協議会

会 の 名 称	群馬県がん患者団体連絡協議会		
対 象 疾 患 等	がん全般		
問 い 合 わ せ 先	群馬県健康づくり財団企画広報課 TEL : 027-269-7811 FAX : 027-269-8928 ホームページ https://www.gunma-hf.jp/gan-kyougi/		
会 員 数	16団体	会 費 等	入会金：なし 年会費：2,000円

会からのメッセージ

平成19年3月に発足した県内のがん患者会・支援団体の集まりで、今では16の団体が参加しています。がん患者が孤独にならないように必要な情報提供と情報交換を行い、互いに交流を深め、群馬県のがん予防と早期発見の推進、医療、ケアの向上に向けた活動や提案を行うため、力を合わせています。

※新型コロナウイルス感染症の影響で、中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。



●群馬県がん患者団体連絡協議会に参加している団体紹介

会 の 名 称	ボン（がん）とよりそう会		
対 象 疾 患 等	がん全般（婦人科系中心） 社会復帰支援		
サロン開催場所・日程	桐生市（ビューティーサロン丹羽） 毎月第3火曜日（8月・12月は、お休み）13時から17時まで（出入り自由） サロン形式とzoomでのハイブリッド型 偶数月（2.4.6.10月）13時から育毛講座開催		
問い合わせ先	渡邊 明子 TEL：090-1539-6743 メールアドレス rate2710@gmail.com		
会 員 数	6名	会 費 等	入会金・年会費なし
主な活動内容			
<p>がん患者の社会復帰をサポートするための少人数のがんサロンです。 今年度よりサロン参加者と zoom 参加のハイブリッド型の参加形態にして、偶数月に抗がん剤後の頭皮のお手入れ方法や育毛方法などを美容師で全身脱毛体験者がアドバイスさせていただきます。また、同時にヘアドネーションの活動もさせていただきます。</p>			
会員からのメッセージ			
<p>医療の進歩とともに、これからはがんと寄り添いながら長生きをする時代が来ると思っています。私たちの前向きな姿が誰かのためになるのなら、と常に考えながら過ごしています。全身脱毛体験者の話が、社会復帰の役に立てればと思います。</p>			

会 の 名 称	あおばの会		
対 象 疾 患 等	血液がん		
サロン開催場所・日程	群馬大学医学部附属病院 南棟 1階 憩いの広場「尾瀬」内のピアノ付近 偶数月（2月・4月・6月・10月・12月）※8月はお休み 第2土曜日13：30～ ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を当面の間中止させていただきます。		
問い合わせ先	相川政雄（電話はなるべく土日をお願いします。） 電話：090-8805-1295 メールアドレス：aobanokai2007@gmail.com		
会 員 数	6名	会 費 等	入会金・年会費なし
主な活動内容			
<p>血液がん患者や家族が抱える不安や悩みについて自由に語り合い、情報交換や親睦を深める。</p>			
会員からのメッセージ			
<p>入院中や外来通院中はなかなか同じ病気の人と話す機会がなく病気や治療に関する悩みや不安を抱えても話す場がないものです。こんな時、あおばの会へ出席して、同じ病気を抱える人や実際の体験談を聞くことができ悩みや不安が少し軽くなりました。 ●あおばの会に参加して、日常生活での前向きな考え方や、食生活の大切さを学びました。</p>			

※新型コロナウイルス感染症の影響で、中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 の 名 称	みゅらりっぷ		
対 象 疾 患 等	子宮・卵巣がん		
サロソ開催場所・日程	群馬県太田駅なか文化館 定例患者会を毎月第2水曜日9時30分から12時		
問 い 合 わ せ 先	三武 美紀 TEL : 090-4208-6424 メールアドレス info@myuralip.com ホームページ http://myuralip.com/		
会 員 数	スタッフ5名 (会員制ではありません)	会 費 等	お茶代 : 500円

主な活動内容

活動内容は、1部は[わかちあいの時間]で「言いつばなし、聞きつばなし」にその人が話したいことを話します。辛かったこと、嬉しかったこと、自分もそうだったと思いをわかちあいます。2部は[お茶の時間]で、コロナ感染症対策(換気、検温・体調確認、マスク着用、アルコール消毒・アクリル板設置、ソーシャルディスタンス、個包のお菓子、ペットボトル、マスク会食)を行った上で、お茶とお菓子を食べながらおしゃべりをします。また、COGS.net:コグスネット(全国の婦人科がん患者会)の参加とCOGS通信の作成(4回/年)、全国がん患者会会議の参加、新聞やテレビなどのメディアへの出演等の患者会活動をしています。昨年は、「がん教育」の外部講師として、教育機関での講演も行いました。

会員からのメッセージ

当会を立ち上げて今年で10年目になります。患者会に参加された方達が、居心地良く話したいことを話せる雰囲気の中で、自分を見つめるお手伝いをさせていただいています。スタッフはがん患者とその家族の5名で、皆20~30代にがん告知や治療を受け、小さな子どもへの対応や仕事や家庭、周囲の方々との関わりに悩み、それを乗り越えてきた方が多いです。会員制ではありませんので、1回のみ参加やご家族(女性)のみ参加も可能です。お気軽にご連絡してください。

コロナ禍において、皆さん不安な日々をお過ごしのことと思います。みゅらりっぷでは、COGS.netに参加し、オンラインで婦人科がん患者の環境改善のため患者・医療者・研究者が毎月1つのテーマをディスカッションしています。ご参加希望の方は、是非ご連絡ください。

「おしゃべりしましょ!がんのこと」がんの話ができる場所があります。お気持ちに向くときにいつでもご参加ください。スタッフ一同、お待ちしております。

※新型コロナウイルス感染症の影響で、中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 の 名 称	群馬ホスピスケア研究会		
対 象 疾 患 等	がん全般（患者・家族）、在宅ケア、遺族ケア		
サロ ン 開 催 場 所 ・ 日 程	①死別体験者悲嘆ケア「分かち合いの会」 （毎月第2日曜日/会場：高崎総合福祉センター） ②緩和ケア病棟ボランティア （毎週水曜日/渋川医療センター緩和ケア病棟）		
問 い 合 わ せ 先	土屋 徳昭 TEL：027-353-1341 FAX：027-353-1341 ホームページ http://www.normanet.ne.jp/~gun-hosp/		
会 員 数	150名	会 費 等	入会金：5,000円 年会費：なし
主な活動内容			
①死別体験者悲嘆ケア「分かち合いの会」 ②緩和ケア病棟ボランティア ③電話相談・訪問面接			
会員からのメッセージ			
「一人で背負えば耐えられない苦難も、分かち合えば半減する」本会の会です。1988年に「群馬でホスピスケアを始めよう!!」をスローガンに、市民を中心に創設した会です。がんをめぐる医療、介護全般にわたり学習、啓発、相談支援、発信活動をしています。とりわけ、緩和ケア・ホスピス病棟のボランティア活動（20年経過）と死別体験者の遺族悲嘆ケア（20年経過）に力を入れています。			

会 の 名 称	女性がん患者会ぱるれ		
対 象 疾 患 等	がん全般		
サロ ン 開 催 場 所 ・ 日 程	高崎総合福祉センター 毎月第1日曜日 13：30～		
問 い 合 わ せ 先	松井 葉子 TEL：090-3470-5783 メールアドレス palure.info@gmail.com ホームページ(ブログ) https://ameblo.jp/parler2016/		
会 員 数	スタッフ2名	会 費 等	参加費：500円
主な活動内容			
2018年からスタートした女性がん患者会です。子宮、卵巣、乳房、胃、大腸、血液などがん種を問わずに参加していただけます。今まで、20～80歳代の様々な年齢の女性が参加してきていただきました。がんの悩みや不安をおしゃべりできる友人の家というような和やかな雰囲気で行っています。 ※会員制ではありません。参加したい時に来ていただけます。			
会員からのメッセージ			
がんを告知され、治療と生活を行う中で、辛さを誰にも言えずに悩んでいる方も多くいます。女性同士安心して病気、生活、家族、結婚、子ども、仕事、今後の人生のことなどお話に来ませんか？			

※新型コロナウイルス感染症の影響で、中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 の 名 称	びあサポぐんま		
対 象 疾 患 等	がん全般		
主 な 活 動 場 所	高崎市総合福祉センター3階ボランティアルーム		
問 い 合 わ せ 先	事務局 TEL：080-6817-7234 メールアドレス piasapo.gunma@gmail.com ホームページ http://piasapo.gunma.jp/		
会 員 数	約50名	会 費 等	入会金：なし 年会費：2,000円

主な活動内容

県内数か所で「地域がんサロンぐんま」を運営し、がん患者・家族の相談支援活動を行っています。また、スキルアップ研修の他、正しいがん情報を届ける活動として、がん専門家による医療講演会（公開講座）を開催しています。

会員は、群馬県がんピアサポーター養成研修会修了者（がん患者・経験者・がん患者の家族）の有志及び支援者によって構成され、顧問として複数の医師がいます。主ながん診療連携拠点病院の相談支援センターと連携を図っています。

会員からのメッセージ

同じ患者・家族として、ピアサポーターとして、自分の経験が役に立つことは嬉しいことです。スキルアップ研修会は、専門家による正しい医療情報が得られ、ピアサポーターとしてのモチベーションの向上になり、会員同士の交流の場として楽しい時間となっています。

地域がんサロンぐんま

対象疾患：がん全般

【開催場所・日程】 自由参加／参加費無料

高崎：毎月第3日曜日 13:00～15:00 高崎市総合福祉センター3階ボランティアルーム

前橋：毎月第4日曜日 13:30～15:30 県立図書館研究室

太田：毎月第1日曜日 13:00～15:00 太田市福祉会館

新町：毎月第2火曜日 13:00～15:00 自遊空間「みちくさ」内

甘楽：毎月第2日曜日（休会中）

※初めて参加される方は、事前に事務局にお問い合わせください。

【主な活動内容】

群馬県がんピアサポーター（ピア=仲間）と支援者が、がんに関する悩み・不安・心配事などについて、患者さんやご家族の心に寄り添う活動をしています。

【会員からのメッセージ】

がん情報は簡単に得られる時代になりましたが、サロンのように顔を合わせてお話をすると、人と人の温もりや優しさ・安心感が得られます。参加した方が笑顔で帰れるように、温かいおもてなし、傾聴する心、患者さんやご家族の心に寄り添うことを心掛けています。どうぞ気楽にご参加ください。

※新型コロナウイルス感染症の影響で、中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 の 名 称	群 鈴 会		
対 象 疾 患 等	喉頭がん、咽頭がん		
サロ ン 開 催 場 所 ・ 日 程	<ul style="list-style-type: none"> ・新前橋教室：群馬県社会福祉総合センター (第1・2・3土曜日 13:00～15:00) ・高崎教室：ハーモニー高崎ケアセンター (第1・2・3火曜日 13:00～15:00) ・太田教室：群馬県立がんセンター (第1・2・3水曜日 12:00～14:00) 		
問 い 合 わ せ 先	齋藤 久嘉	TEL：0274-22-1552	FAX：0274-22-1552
会 員 数	60名程度	会 費 等	入会金：5,000円 年会費：3,000円 教材費：2,300円
<p>主な活動内容</p> <p>喉頭がん患者を中心に作られた会で、食道発声の訓練や生活上のアドバイス、交流会、研修旅行などを行っています。(全員ががんで声帯を失い、1度は声を失っております。)訓練によって声を取り戻そうではありませんか。</p>			
<p>会員からのメッセージ</p> <p>楽しい教室です。新前橋、高崎教室、太田教室県内3カ所で行っています。がんで声帯を失った人のグループです。</p>			

会 の 名 称	1.2の3で温泉に入る会ぐんま		
対 象 疾 患 等	乳がん		
問 い 合 わ せ 先	武井 芳恵	TEL：027-352-0842	FAX：027-352-0842
会 員 数	30名	会 費 等	入会金：なし 年会費：1,000円
<p>主な活動内容</p> <p>乳がん体験者は心に傷を受けている方が多く同じ想いでお互い寄り添って励まし合うことができたら、明るく前向きに治療を受けられる、生きて行ける、温泉も入れる【温泉も皆で入れば怖くない】が会の始まりです。 年に1～2回日帰りまたは1泊温泉交流会、総会、新年会、各地区ごとのおしゃべり相談食事会、会報「赤城たより」年3～4回発行(不定期)、がん啓発運動等に参加。</p>			
<p>会員からのメッセージ</p> <p>温泉の大浴場でゆったりしたい、そう思っても手術の傷跡が気になってつい尻込みしてしまう。そんな仲間がいると心強く安心して入浴できます。術後の服薬期間も長く気のめいる時がありますが、同じ病気の人達とおしゃべりすると元気が出てきます。一緒に治療を乗り切りましょう。</p>			

※新型コロナウイルス感染症の影響で、中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 の 名 称	群馬あかぎ互療会 (公益社団法人日本オストミー協会群馬県支部)		
対 象 疾 患 等	オストメイト（人工肛門、人工膀胱を造設した人）		
主 な 活 動 場 所	県内各市に活動拠点を設けています。 (前橋、高崎、伊勢崎、富岡、桐生、太田、沼田)		
問 い 合 わ せ 先	大島 主好 TEL：027-285-4632 FAX：027-285-4632 TEL：090-2477-2516 メールアドレス mfwsy500@ybb.ne.jp		
会 員 数	約80名	会 費 等	入会金：1,000円 年会費：3,600円

主な活動内容

総会と講演会、補装具メーカーの展示説明会、日帰り研修会、一泊研修旅行、各活動拠点での体験交流会、食事を実施しています。6月の全国大会では全国54支部との交流や、補装具メーカーの展示説明会も実施されます。原則偶数月の第2日曜日の午後には県社会福祉総合センターでオストメイト交流相談会を皮膚・排泄ケア認定看護師さんを囲んで実施します。3月に群馬ストーマ・排泄リハビリテーション研究会で各病院の看護師さんの研究発表や特別講演を聴講でき、補装具メーカーの展示説明会も実施されます。オストメイトが安心して暮らせるために3つの不安解消にむけて啓発活動をしています。

- ①外出時：オストメイト対応トイレの整備
- ②災害時：災害時のオストメイト救済対策
- ③老後：介護におけるストーマケアの充実

※新型コロナウイルス感染症防止の為、警戒度2以下の場合に実施します。

会員からのメッセージ

身体障害者の内部障害のため外見は健常者と変わりありませんので、障害者用トイレを使用する場合注意を受けることがありますが説明すれば理解していただけますので、めげないでください。新入会員の方には「やさしさ」と「思いやり」をもってお待ちしております。

会 の 名 称	笑^えみの会		
対 象 疾 患 等	乳がん その他		
主 な 活 動 場 所	高崎市		
問 い 合 わ せ 先	早川 尚代 TEL：027-384-2157 FAX：027-384-2157		
会 員 数	50名	会 費 等	入会金：なし 年会費：2,000円

主な活動内容

年3回会報「エミオ」の発行、総会、お花見会、食事会、懇親会、親睦旅行、忘年会、定期セミナー 等

会員からのメッセージ

人生の質(QOL)を追求し、いつも笑顔で楽しい人生が送れるよう、笑顔があふれて楽しい会です。

※新型コロナウイルス感染症の影響で、中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 の 名 称	ぶな 生菜の会		
対 象 疾 患 等	がん全般		
問 い 合 わ せ 先	岡庭 和子 TEL：027-361-3568 FAX：027-361-3568 ホームページ http://bagumma.exblog.jp/		
会 員 数	20名	会 費 等	入会金：なし 年会費：2,000円
<p>主な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●月1回 相談もかねた交流会（内科医の木暮先生が同席されます。事前予約が必要です。） ●年1回“場”の養生塾（群馬）との共催で講演会と1泊2日のセミナーを開催し、参加します。 ●地域における他の団体との交流や活動への参加 ●常時、電話にての相談窓口を設定 			
<p>会員からのメッセージ</p> <p>がんと宣告されたその日から患者としての道のりが始まります。幾つかの階段を経て出会う治療や悩みを共有し合い、話し合っていく事で、自分にとっての自分にとって最良の道を選び取ろうと思う人達が生まれ、集う“場”になっています。西洋医学のみならず、東洋医学や可能な限りの治療法を共に考えていけたら・・・という主旨のもとに発足したがん患者と家族の会です。県内におけるがん関連の情報を幅広く収集し、提供していくことや、病院、各種医療従事者の方々との交流を通じて連繫してゆく事が、患者にとってのベストな環境づくりになると信じて、目標としております。</p>			

会 の 名 称	がんサロン桔梗		
対 象 疾 患 等	がん全般		
サロン開催場所・日程	桐生市昭和公民館 2F 談話室 毎月第3日曜日 13:30～15:30		
問 い 合 わ せ 先	桑原 淳造 TEL：0277-65-7444 FAX：0277-65-7444 TEL：090-9016-2484 メールアドレス juju.watarase1945@icloud.com		
会 員 数	4名	会 費 等	なし
<p>主な活動内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 誰もが気軽に参加OK 2 参加費無料、予約不要、個人情報厳守 3 同じ体験をした仲間と、お互い顔を見て、声を聴いて話し合えるわかち合いの場所です。 4 サロンに参加し、情報交換することにより、不安や焦りを解消し、つらさや悩みをわかち合うことが出来る。 			
<p>会員からのメッセージ</p> <p>【参加者からのメッセージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●初めての参加で心配あったが、私の症状・気持ちをていねいに聴いて頂き、不安が解消され、居心地良かったです。 ●正しい情報の入手や、病院の相談支援センターも詳しく説明され大変有意義でした。 			

※新型コロナウイルス感染症の影響で、中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 名 称	ひまわりの会		
対 象 疾 患 等	がん全般		
主 な 活 動 場 所	群馬県健康づくり財団内（前橋市堀之下町）		
問 い 合 せ 先	公益財団法人群馬県健康づくり財団 企画広報課 ひまわりの会事務局 TEL：027-269-7820 FAX：027-269-8928 メールアドレス kikaku@gunma-hf.jp ホームページ https://www.gunma-hf.jp/public/himawari/		
会 員 数	15名	会 費 等	入会金：なし 年会費：2,000円
主な活動内容			
<ul style="list-style-type: none"> ●月に一度の定例会（茶話会）：会員同士、何でも気楽に話すこと、相談することができます。定例会です。（相談したいことがあれば、医師や保健師に相談できます。） ●その他、会報の作成、親睦旅行、新年会などで、会員同士の交流を深めています。 ●入会は随時受付しています。事務局へご連絡ください <p>現在は新型コロナウイルス感染症の状況をみながらの活動です。</p>			
会員からのメッセージ			
ひまわりの会は、がんを患った人やその家族で構成されています。同じ体験をした者同士で、気兼ねなく何でも話し、励まし合っています。定例会では、気になる事があった時には医師や保健師に気軽に相談できます。会の活動への参加はどれも自由ですので、体調に合わせて参加できます。			

会 名 称	あけぼの群馬		
対 象 疾 患 等	乳がん		
主 な 活 動 場 所	ぐんま男女共同参画センター 群馬県社会福祉総合センター 高崎市総合福祉センター 毎月第2日曜日13:30～15:30		
問 い 合 せ 先	本 ^{せつこ} 田 攝子 TEL：027-326-2805 FAX：027-326-2805 メールアドレス akebonogunma@gmail.com ホームページ http://www.akebono-net.org/ （あけぼの会本部）		
会 員 数	60名	会 費 等	入会金：なし 年会費：2,000円
主な活動内容			
<ul style="list-style-type: none"> ●会報「あけぼの群馬便り」発行 ●講演会、医療相談会、勉強会の開催 ●親睦会の開催 新年会、温泉旅行 <ul style="list-style-type: none"> ●あけぼのハウス開催…乳がん体験者による少人数の集い。どなたでも参加できます。第2日曜日13：30～15：30 ●群馬県がん患者団体連絡協議会活動参加 			
会員からのメッセージ			
同じ体験をした仲間と、お互いの顔を見て、声を聞いて話し合える暖かい乳がん患者会です。なかなか会えない会員への群馬の乳がん情報や、会員からのホッとできるお便りなどを載せた形式ばらない会報も発行しています。乳がんになっても決して一人ではありません。勇気を出してご参加ください。そして、入会してあなたの力をお貸しください。希望の扉と一緒に開きましょう。			

※新型コロナウイルス感染症の影響で、中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 の 名 称	群馬がん看護研究会		
対 象 疾 患 等	がん全般		
主 な 活 動 場 所	群馬大学大学院保健学研究科		
問 い 合 わ せ 先	群馬大学大学院保健学研究科内 群馬がん看護研究会事務局 TEL：027-220-8983 FAX：027-220-8983 メールアドレス gons2004@gmail.com ホームページ http://gunma-gankango.dept.health.gunma-u.ac.jp/		
会 員 数	約150名	会 費 等	入会金：1,000円 年会費：3,000円

主な活動内容

本研究会は、群馬県におけるがん看護に関する研究、教育及び実践の発展と向上に努め、広く社会に貢献することを目指し、がん看護に関する情報交換などを通じ会員相互が刺激しあってがん看護の追求を行なっております。

- 学術集会：群馬がん看護フォーラム 1回/年（5月頃）
- スキルアップセミナー 1回/年（10月頃）
- リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんまへの参加
- がん征圧街頭キャンペーンへの参加 ●がん患者ミーティングへの参加
- 群馬県がん診療連携拠点病院 地域懇話会 市民講座への後援

会員からのメッセージ

当研究会の特徴のひとつは、看護職のみならず広く、医師、薬剤師、がん患者・ご家族、一般市民から構成され、医療を受ける側と医療提供する側で手をとりあい、群馬県らしいがん医療・看護のあり方を検討しているところにあります。そのため学術集会ではがん体験者やご家族の講演、発表があり看護職にとっても新しい発見があります。群馬県においてがん看護のさらなる発展をめざし、皆様も新しい情報、体験者との交流を深め、より質の高い実践をするため、生涯学習の場として、本会にご参加ください。

会 の 名 称	群大重粒子線医学センター「友の会」		
対 象 疾 患 等	重粒子線治療患者		
主 な 活 動 場 所	群馬県及び全国		
問 い 合 わ せ 先	佐伯 詔一 TEL：027-251-7395（上毛資源：担当・倉澤） メールアドレス（担当者） j1067@j-shigen.co.jp		
会 員 数	約40名	会 費 等	年会費：3,000円

主な活動内容

- 年次総会開催 ●県民の日に合わせて行われる施設開放日に協力
- 健康保険適用国会請願活動 ●年三回程度情報誌発行

会員からのメッセージ

- 患者同士現状の病状などの交換（何の義務も発生しない気楽な病気仲間という感じ）

※新型コロナウイルス感染症の影響で、中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

●病院が事務局となり活動している患者団

会 の 名 称	ききょう友の会		
対 象 疾 患 等	ストーマを増設した患者さま（がん患者に限定していません）		
主な活動場所	沼田市内		
問い合わせ先	利根中央病院外科外来 TEL：0278-22-4321（代表）		
会 員 数	12名	会費等	入会金：1,000円 ※参加費が必要な場合あり
<p>主な活動内容</p> <p>ストーマを保有された方の自立を目指すことと会員の交流と親睦を目的とした会で、活動は年2回です。</p> <p>春：総会で会計報告と行事計画、簡単な勉強会</p> <p>秋：会員の要望を聞いての食事会や宿泊親睦会</p>			

会 の 名 称	卵の花会		
対 象 疾 患 等	乳がん		
主な活動場所	原町赤十字病院		
問い合わせ先	原町赤十字病院 乳がんを担当する看護師、または、がん相談支援センター TEL：0279-68-2711 FAX：0279-68-2529		
会 員 数	約20名	会費等	年会費：1,000円
<p>主な活動内容</p> <p>交流を通じて、主に「会員同士の親睦」、「ピアサポート体制の確立」、「一般の方々への啓発」などを目的に活動しています。おしゃべりの中から、親睦を深め、ともに支え合う仲間づくり、そして、地域への貢献を目指しています。「リレー・フォー・ライフ」「がん市民セミナー」への参加や、乳がん患者さんに向けた「小冊子」「かわら版」づくりなども行っています。また、がんサロンや患者相談を通じたピアサポートの体制作りを考えております。</p>			
<p>会員からのメッセージ</p> <p>平成26年から原町赤十字病院の患者会として結成されました。卵の花は決して華やかな花ではありませんが、ごく身近な場所に咲く可憐な花です。自分自身や家族を見つめ直し、新たな世界に踏み出す時、卵の花を「心持ち」の象徴にして、活動を続けています。私たち『卵の花会』では、ともに励まし合う会員を募集しています。原町赤十字病院の患者さまに関わらず、ご参加いただけます。</p>			

※新型コロナウイルス感染症の影響で、中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 の 名 称	なすなの会		
対 象 疾 患 等	乳がん		
主 な 活 動 場 所	前橋赤十字病院		
問 い 合 わ せ 先	前橋赤十字病院 相談支援センター TEL：027-265-3333		
会 員 数	20名	会 費 等	入会金：1,000円 年会費：2,000円
主な活動内容			
<p>当院の患者さんに限らずご利用いただけます。時には院外での交流会も企画しています。アットホームな雰囲気の中で自由に語らいをしています。</p>			

※新型コロナウイルス感染症の影響で、中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

●その他の患者団体

会 の 名 称	ウーマン・キャンサー・ネットワーク・ぐんま		
対 象 疾 患 等	全がん対象（参加者は女性のみ）		
サロ ン 開 催 場 所 ・ 日 程	高崎市総合福祉センター ボランティアルーム1 奇数月の第2土曜日14時～16時 オンラインサロンの開催（日時等については電話・メールでお問合せください。）		
問 い 合 わ せ 先	安井 TEL：090-4207-3704 メールアドレス wcn.gunma@gmail.com ブログ https://wcn.muragon.com/		
会 費 等	なし（自由参加）		
主な活動内容			
<p>がんを体験した女性患者と家族、医療従事者のボランティアが運営する、がんに悩む女性のためのサロンです。女性だけのサロンとして気兼ねなく心ゆくまでお話ができます。大腸がん、食道がん、卵巣がん、乳がん、血液がんなど、様々ながんの体験者・治療中の方が集まるので、がんを告知された方、再発された方…いろいろな不安や悩みを話し合うことができます。また、様々な条件の方に対応するために、オンラインサロンの開催や、メール・電話でのご相談も受け付けています。</p>			
会員からのメッセージ			
<p>がんと告知されたけど相談する相手がいない、同じがん種の人と話がしたい、子育て中になんてなってしまった…。治療と仕事の両立、家族との関係、再発への不安・・・孤独の中にある女性患者の皆さん、繋がってみませんか、話してみませんか。どうぞ自由にご参加ください。</p>			

※新型コロナウイルス感染症の影響で、中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 の 名 称	乳がん治療・再建のネットワーク「シャロン前橋」
対 象 疾 患 等	乳がん
サロン開催場所・日程	群馬県立図書館三階研究室（前橋日吉町1-9-1） 偶数月 第2土曜日 14時から定期開催
問い合わせ先	篠原 敦子 TEL：090-6023-7026 メールアドレス hdnfn138@yahoo.co.jp ホームページ http://charonm.starfree.jp/

主な活動内容

乳がん告知を受け、全摘か、温存か、同時再建かで迷っている、また治療の副作用に悩み、再建手術の出来映えに満足出来ず、途方に暮れている患者さん、是非、お声かけください。がん闘病は思いを共有する仲間を持つこと、そして最新の情報をキャッチするネットワークが大きな力になります。「サロン」なので拘束はありません。8年間の活動内容については、HPの闘病コラムをご参照ください。参加は女性限定です。

会員からのメッセージ

講演会や他の患者会への紹介、連携が充実していて、視野が広がりました。乳がんに罹ると女性としての将来、仕事、家族など、多岐に渡って乗り越えてゆくハードルが見えてきます。経験者に助けられ、今後も「病氣」と共存し、成長してゆきたいです。

会 の 名 称	一般社団法人がん哲学外来認定カフェ「がん哲学外来なごみカフェ」		
対 象 疾 患 等	がん全般		
サロン開催場所・日程	伊勢崎市民病院内2F 毎月第4火曜日 14:00～15:30 令和5年、3月～ 臨時開催場所:伊勢崎市宮郷公民館（研修室3） 奇数月定期開催:定員制にて事前予約が必要です。 （ホームページからも事前予約ができます）		
問い合わせ先	塚本 恵美子 TEL：090-1883-1119 FAX：0270-62-9951 メールアドレス medicafe1011@gmail.com ホームページ https://nagomi-cafe-niijima.jimdofree.com/		
会 員 数	25名	会 費 等	入会金：なし（自由参加）

主な活動内容

- がん患者・その家族・友人・医療者・遺族や支援者などが集まり、がんについての思いや不安などを語り合う「対話」の場を提供しています。
- 楽器演奏会を通して参加者との親睦をはかっています。

会員からのメッセージ

「がん哲学外来」（提唱者：樋野興夫先生）の言葉の処方箋に励まされながら、皆さんと楽しくカフェをしています。帰るときにはなぜか心がほっこりする集まりで、楽しみに皆さんが集まってくださいます。どなたでも参加できますので、是非お越しください。

※新型コロナウイルス感染症の影響で、中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

がんピアサポーターからのメッセージ③ 心が軽く ～サロンでの仲間との出会い～

群馬県がんピアサポーター 安部 文子

私は2018年4月に、乳がんの手術を受けました。

最初の診断からいくつかの検査を経て、2か月後にステージが確定しました。勤務時間を調整しながら5週間の放射線治療に通い、今はホルモン治療をしながら仕事を続けています。

術後1年目のマンモグラフィ検査を受ける時は、「再発していたらどうしよう」という不安でいっぱいでした。いえ、その時だけでなく、常に不安でいっぱいな毎日を送っていました。

そんな中私が、自分以外のがんになられた方とお話する機会を得たのは、手術から1年経ってからのことでした。

早期発見のため定期検診の重要性が呼びかけられて久しく、早く見つけて治療を始めることができている方も増えています。でも、いくら早く見つけても、「がんになった」ことに対する不安がどれだけのことか、自身がなるまでは量り知れなかった。それを分かち合えたのが、サロンで出会った“仲間”でした。

「迷ったらGO」。尊敬するサロンの先輩がいつもおっしゃっている言葉です。仲間だから、「今を見つめる大切さ」がわかりあえる。

サロンをきっかけに、たくさんの“仲間”に出会うことができました。いつのまにか「先の不安ばかりを抱えて過ごしていても意味がない」と心から思えるようになっていた自分を、そこに見つけました。

ひとりで抱え込まなくていいんです。サロンに遊びに行ってみませんか。

ここには今を大切に生きている、あなたのたくさんの仲間たちが待っています。